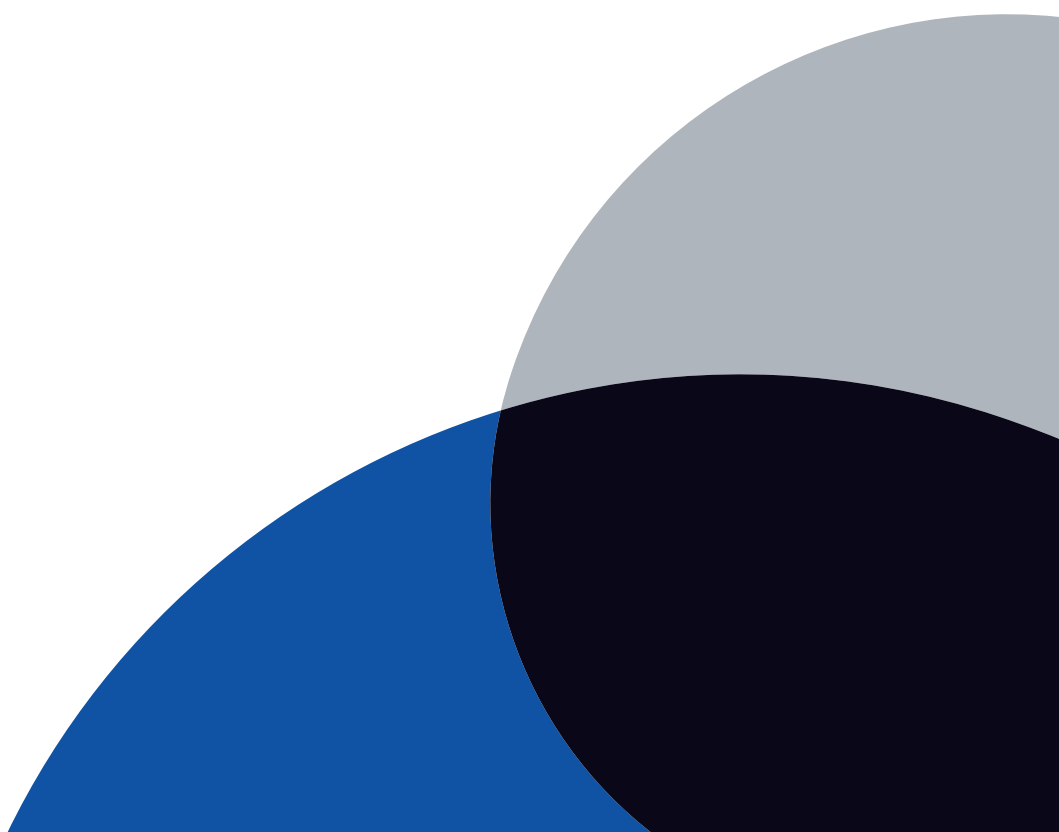




第17期 2013年1月1日～2013年12月31日

# SIOS Report Vol.15



# SIOS is Innovative Open Solutions

1997年の創業以来、オープンソースソフトウェアの開発と利用を軸に、OS（基本ソフトウェア）からWebアプリケーションにいたるソリューションの提供を通じて、新たな価値を創造します。

## 株主・投資家の皆様へ

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第17期（2013年1月1日～2013年12月31日）の「SIOS Report Vol.15」を皆様にお届けし、当期の業績のご報告とともに、今後の見通し等につきましてご説明申し上げます。



代表取締役社長  
喜多 伸夫

## 当期のポイント

### ■ 売上高 6,624百万円（前年同期比 9.9%増）

- ▷ [LifeKeeper]<sup>(1)</sup>は国内販売が牽引し増加
- ▷ オープンソースソフトウェア<sup>(2)</sup>に関するサポートサービスやOSS関連プロジェクトは順調に推移
- ▷ [Red Hat Enterprise Linux]<sup>(3)</sup>は堅調な伸び
- ▷ MFP関連ソリューション<sup>(4)</sup>は引き続き伸長
- ▷ クラウドコンピューティング<sup>(5)</sup>分野の製品・サービスの提供が順調に推移

### ■ 営業利益 246百万円（前年同期比 121.3%増）

- ▷ 利益減少要因であった米国子会社のれん償却が2012年6月に終了（前年同期は米国子会社のれん償却額114百万円）
- ▷ 営業・マーケティングの強化に係る費用や自社製品開発のための先行投資費用を増収効果により補う

### ■ EBITDA<sup>(※)</sup> 322百万円（前年同期比 10.0%増）

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

以上により、当期の業績は、次頁の財務ハイライトに記載する結果となりました。

当社グループは、当期においてITを通じて顧客企業のコスト削減や競争力強化を実現すべく、高い成長が継続しているクラウドコンピューティング（以下、「クラウド」）や、当社の強みであるオープンソースソフトウェア（以下、「OSS」）に関連する領域での活動を推進し、景気の波に左右され難い最先端分野での事業拡大に注力しました。

この結果、当連結会計年度における売上高は6,624百万円と前年同期比9.9%増となりました。

今後とも、より一層のご支援ご鞭撻をいただけますよう、よろしく願い申し上げます。

## 目次

株主・投資家の皆様へ	1
財務ハイライト	2
今後の見通し	3
中期事業戦略の基本方針	4
サイオスの取り組み	5、6
要約連結財務諸表	7、8
事業概況（連結）	9
会社概要/株式の状況	10

(1) 米国子会社SIOS Technology Corp.の開発製品。本番稼働のサーバーとは別に、同じ環境の子備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うHA（ハイアベイラビリティ）クラスターソフトウェア。

(2) ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布ができるソフトウェア。

(3) オープンソリューション プロバイダーRed Hat, Inc.が開発するLinux OS。

(4) プリンタ、スキャナ、コピー、FAX等複数の機能を搭載した機器をMFP（Multi Function Peripheralの略）という。MFP上を効率的に利用できる文書管理ソフトウェア「Quickスキャン」等の開発・販売・保守。

(5) コンピュータ処理をインターネット経由で、サービスとして利用できる新しいコンピュータの利用形態。

(単位：百万円)

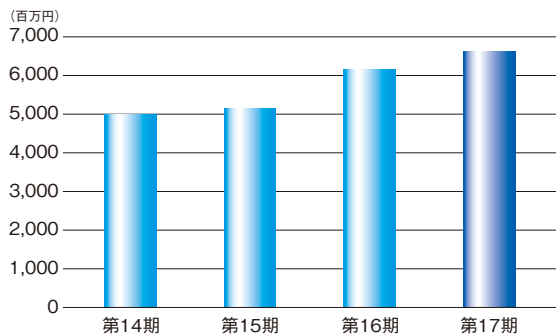
	第14期 2010年 12月期	第15期 2011年 12月期	第16期 2012年 12月期	第17期 2013年 12月期
売上高	4,987	5,110	6,029	6,624
営業利益(△損失)	△ 283	△ 155	111	246
経常利益(△損失)	△ 286	△ 161	106	265
当期純利益(△損失)	△ 312	△ 247	34	110
EBITDA*	52	151	293	322
総資産	3,232	2,775	3,005	3,196
純資産	1,717	1,447	1,514	1,751
1株当たり当期純利益(△損失)(円)*	△ 36.04	△ 28.56	3.97	12.71
潜在株式調整後1株当たり当期純利益(円)	—	—	2.92	10.46
1株当たり純資産(円)	194.85	163.72	174.21	198.86
社員数(名)*	197	199	208	207

\*EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

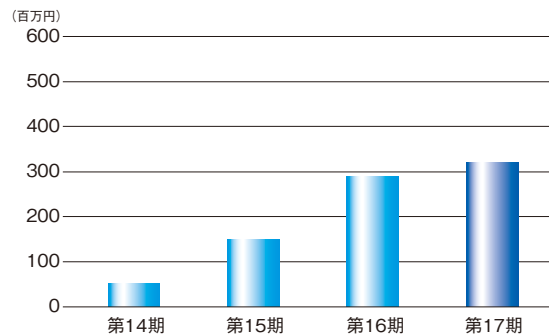
\*2013年7月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っており、各会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産を算定しております。

\*社員数は臨時雇用者数を除く。

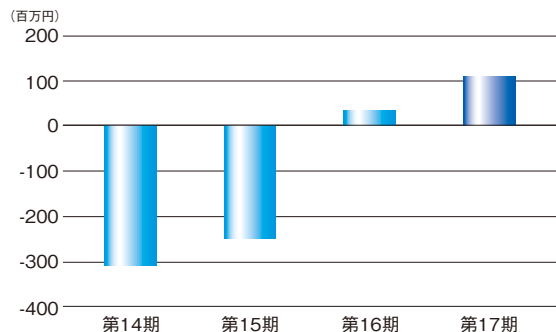
## 売上高



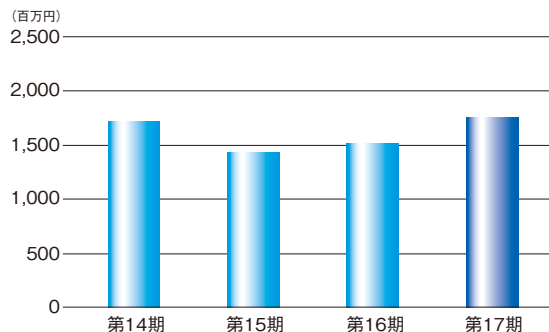
## EBITDA



## 当期純利益(△損失)



## 純資産



## 次期の見通し

当社グループは、次期を新たな成長起点の年と位置づけ、新規分野の拡大、製品力強化のための研究開発、競争力強化に向けた人材投資等を積極的に行います。具体的には、ビッグデータソリューション<sup>(6)</sup>やMBaaS<sup>(7)</sup>等の新たな事業分野に積極的に取り組むとともに、「LifeKeeper」のバージョンアップやMFP関連製品及びクラウド関連製品等の機能拡張のための積極投資を進めます。また、コアビジネスであるOSS関連ソリューション、事業継続ソリューション、MFP関連ソリューション、クラウドソリューションにおける営業・技術・マーケティングの強化による差別化を一層推進します。

これらにより、次期の連結業績見通しは、売上高7,200百万円（当連結会計年度の8.7%増）となる見込みです。一方、営業損益以下の項目においては、前述したとおり新たな成長戦略の初年度として積極投資を進めるため、営業利益100百万円（同59.4%減）、経常利益100百万円（同62.3%減）、当期純利益は30百万円（同72.9%減）となる見込みです。なお、EBITDAは200百万円（同38.0%減）と予想しています。

（単位：百万円）

	第17期 2013年12月期 (当期・実績)	第18期 2014年12月期 (次期・予想)	増減率
売上高	6,624	7,200	+8.7%
営業利益	246	100	△ 59.4%
経常利益	265	100	△ 62.3%
当期純利益	110	30	△ 72.9%
EBITDA	322	200	△ 38.0%

## セグメント別の取り組み

### 【オープンシステム基盤事業】

自社製品の「LifeKeeper」のさらなる拡販に向けて、製品機能

の向上や販売パートナーとの関係強化に取り組みます。また、「Red Hat Enterprise Linux」をはじめとするOSS関連ビジネスにおいて、営業・技術・マーケティングの各機能強化を行い、競争優位性の確立に努めます。

### 【Webアプリケーション事業】

MFP関連ソリューションの機能拡張及び営業活動強化を推進します。また、「Gluegentシリーズ」<sup>(8)</sup>の提供拡大による収益基盤の拡大を図ります。これらに加え、ビッグデータソリューションや、MBaaS等の新たな事業分野に積極的に取り組みます。

## 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、今後の事業展開に備え経営体質を強化すること、並びに、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識しています。利益配分につきましては、経営成績、財政状態及び今後の事業展開を勘案し、必要な内部留保を確保しつつ、業績に応じた配当を継続していくことを基本方針としています。

当連結会計年度におきましては、売上高は順調に推移し、当期純利益は増加しました。これにより、当期末の配当金は、企業体質の強化や事業拡大に要する内部留保の充実に努めることを勘案し、1株当たり5円といたしました。

次期の配当は現時点での業績予想を前提に、1株当たり5円とさせていただきます。

	第16期 2012年12月期 (前期)	第17期 2013年12月期 (当期)	第18期 2014年12月期 (次期)
年間配当	3.00円 <sup>(*)</sup>	5.00円	5.00円（予定）

（\*）2013年7月1日付で1株につき100株の株式分割を実施しているため、前期の年間配当は株式分割補正後の値を記載

<sup>(6)</sup> 大規模データを従来より低コストかつ短時間で解析・分析等できるソフトウェアを利用したクラウドサービス。

<sup>(7)</sup> MBaaS（Mobile Backend as a Service）の略。スマートフォンアプリの開発に必要な汎用的機能を提供し、スマートフォンアプリを効率よく開発できるクラウドサービス。

<sup>(8)</sup> 社内のワークフローをクラウド化する「Gluegent Flow」をはじめ、Google Calendarにチームメンバーの予定管理機能を付加した「Gluegent Apps グループスケジューラー」等、企業におけるクラウドを利用した業務効率化等を支援するサービス。

## IT市場環境の見通し

- ハードウェアの主役はPCからスマートデバイスへ移行
- モバイルインターネット環境はより便利に

- これらにより、過去にない革新的なビジネスが数多く生まれると見込まれる
- 20年に一度のIT産業の劇的な構造変化が始まる

## 中期事業戦略の基本方針

1. コアビジネスの拡充による競争力強化
2. 新たな事業機会の創出によるビジネス拡大
3. 持続的な安定成長に向けた事業基盤の強化

### 1. コアビジネスの拡充

#### 主力事業の強化

OSS、LifeKeeper、MFP、クラウド等

#### 積極的に人材投資

更なる成長を図るため人員増強

#### 海外市場の開拓

海外市場の事業展開を加速

### 2. 新たな事業機会の創出

#### 成長分野での事業拡大

ビッグデータ、MBaaS等

#### 戦略的R&Dの強化

新規分野拡大・商品力強化

#### M&Aの推進

周辺事業への参入・拡大

### 3. 事業基盤の強化

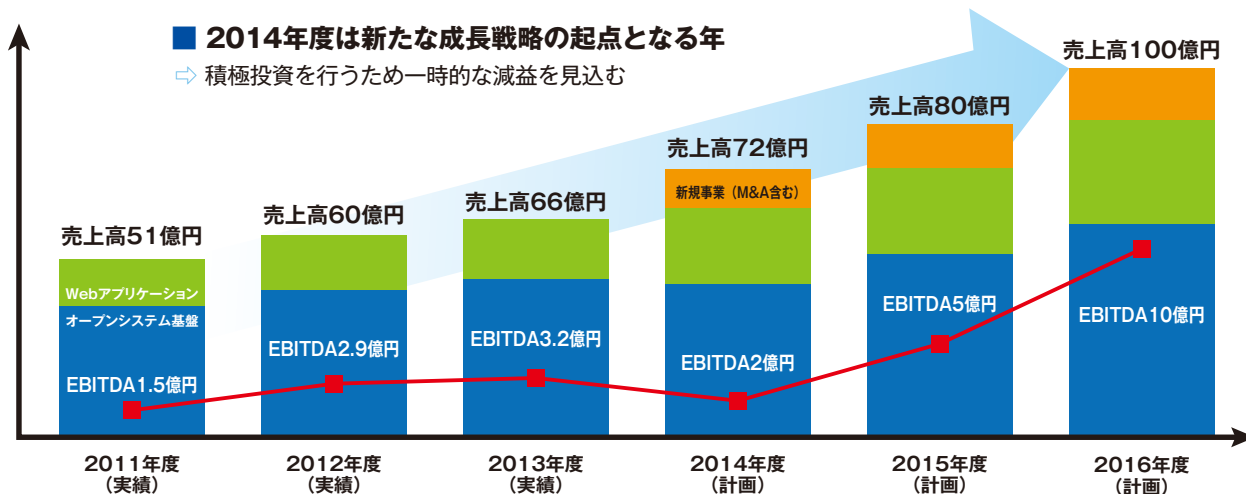
#### コスト管理の徹底

#### 人材育成の制度やプログラムの整備

#### 事業の選択と集中を推進

当社グループは2016年度に **売上高100億円、EBITDA10億円** を目指します。

(EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額)



## 複合機向けプロダクトの機能強化

複合機向けスキャナアプリケーション「Quick スキャン」及び「Speedoc」の機能強化を推進



- ▶ 複合機の画面上で共有ドキュメントをプリントできる「Quick スキャン V3」を2014年3月から提供開始
- ▶ 複合機セキュリティ対策の画像ログ取得ソリューション「Log キャプチャ」を2014年3月から提供開始

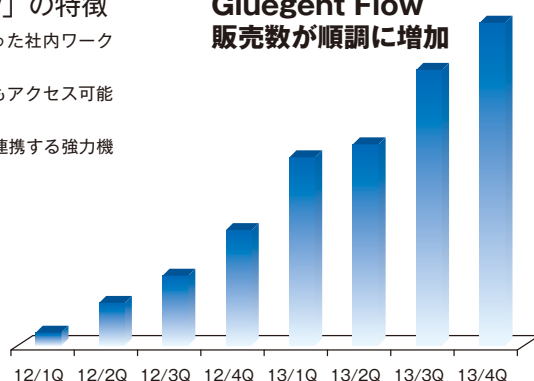
## クラウド型ワークフローのオプションサービス開始

ソフトバンクテレコム社の「SoftBank with Google Apps™」オプションサービスとして「Gluegent Flow」を2013年10月から提供開始

### 「Gluegent Flow」の特徴

- ▶ 回覧・承認・稟議といった社内ワークフローをクラウド化
- ▶ いつでも、どこからでもアクセス可能なクラウドサービス
- ▶ 「Google Apps™」と連携する強力機能で業務効率化を実現

### Gluegent Flow 販売数が順調に増加



\*ワークフロー申請入力画面イメージ

## ビッグデータ分析サービスラインナップを充実

ビッグデータを可視化する  
「SIOS OSS Dashboard」を2013年8月から提供開始



ビッグデータ分析を高速化する新製品を  
2013年12月から販売開始

- Treasure Query Accelerator販売開始
  - ▶ データベース処理を従来の10倍から50倍に高速処理
- BIツール最新版Tableau 8.1販売開始
  - ▶ 最先端のグラフィック技術でビッグデータを見える化



## モバイルアプリケーション用プラットフォームサービス分野に進出

スマートフォン等のモバイル向けアプリケーションを高品質に量産するプラットフォームの提供を目的に  
米国シリコンバレーに子会社を設立、北米ほか世界市場を対象としたサービスへの成長を目指す

### 会社概要

商 号	Glabio, Inc.
所 在 地	San Mateo, California, U.S.A.
President&CEO	栗原 傑享
事 業 の 内 容	モバイル向けアプリケーションの開発及び運用を行うプラットフォームサービスを提供
資 本 金	US\$ 500,000
設 立	2013年11月
持 株 比 率	サイオステクノロジー株式会社 100%



連結貸借対照表

(単位:千円)

	第16期 2012年12月31日	第17期 2013年12月31日
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>2,662,967</b>	<b>2,869,824</b>
現金及び預金	1,586,154	1,733,011
受取手形及び売掛金	736,269	841,917
仕掛品	30,478	23,556
繰延税金資産	37,351	26,283
前渡金	188,582	130,810
その他	90,163	114,759
貸倒引当金	△ 6,034	△ 513
<b>固定資産</b>	<b>342,942</b>	<b>327,028</b>
有形固定資産	60,891	117,501
無形固定資産	91,690	41,376
投資その他の資産	190,360	168,150
<b>資産合計</b>	<b>3,005,910</b>	<b>3,196,852</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>1,374,511</b>	<b>1,326,225</b>
買掛金	189,236	236,338
1年内返済予定の長期借入金	5,508	5,508
未払法人税等	111,927	1,699
前受金	817,215	883,015
その他	250,623	199,663
<b>固定負債</b>	<b>117,176</b>	<b>118,679</b>
長期借入金	11,656	6,148
退職給付引当金	103,445	112,531
その他	2,075	—
<b>負債合計</b>	<b>1,491,687</b>	<b>1,444,904</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>1,851,020</b>	<b>1,968,492</b>
資本金	1,481,520	1,481,520
資本剰余金	472,108	476,557
利益剰余金	△ 53,612	30,997
自己株式	△ 48,995	△ 20,582
その他の包括利益累計額	△ 340,577	△ 220,802
新株予約権	2,239	2,502
少数株主持分	1,539	1,755
<b>純資産合計</b>	<b>1,514,222</b>	<b>1,751,948</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>3,005,910</b>	<b>3,196,852</b>

連結損益計算書

(単位:千円)

	第16期 自 2012年 1月 1日 至 2012年12月31日	第17期 自 2013年 1月 1日 至 2013年12月31日
<b>売上高</b>	<b>6,029,377</b>	<b>6,624,588</b>
売上原価	3,613,890	4,016,234
<b>売上総利益</b>	<b>2,415,487</b>	<b>2,608,353</b>
販売費及び一般管理費	2,304,277	2,362,273
<b>営業利益</b>	<b>111,210</b>	<b>246,079</b>
営業外収益	3,291	22,342
営業外費用	8,105	2,886
<b>経常利益</b>	<b>106,396</b>	<b>265,536</b>
特別利益	27,834	4,883
特別損失	270	122,266
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>133,960</b>	<b>148,153</b>
法人税、住民税及び事業税	127,508	22,986
法人税等調整額	△ 23,113	14,329
<b>少数株主損益調整前当期純利益</b>	<b>29,564</b>	<b>110,837</b>
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△ 4,884	216
<b>当期純利益</b>	<b>34,449</b>	<b>110,621</b>

連結包括利益計算書

(単位:千円)

	第16期 自 2012年 1月 1日 至 2012年12月31日	第17期 自 2013年 1月 1日 至 2013年12月31日
少数株主損益調整前当期純利益	29,564	110,837
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	56,434	119,775
その他の包括利益合計	56,434	119,775
<b>包括利益</b>	<b>85,999</b>	<b>230,612</b>
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	90,883	230,396
少数株主に係る包括利益	△ 4,884	216

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	第16期 自 2012年 1月 1日 至 2012年12月31日	第17期 自 2013年 1月 1日 至 2013年12月31日
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>384,266</b>	<b>90,470</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 46,412	△ 95,166
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,778	△ 3,569
現金及び現金同等物に係る換算差額	69,660	155,121
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	405,736	146,856
現金及び現金同等物の期首残高	1,180,418	1,586,154
現金及び現金同等物の期末残高	1,586,154	1,733,011



## 連結株主資本等変動計算書

第17期(自 2013年1月1日 至 2013年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				株主資本 合計	その他の包括利益累計額		新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額合計			
2013年当期首残高	1,481,520	472,108	△ 53,612	△ 48,995	1,851,020	△ 340,577	△ 340,577	2,239	1,539	1,514,222
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 26,011		△ 26,011					△ 26,011
当期純利益			110,621		110,621					110,621
自己株式の処分		4,449		28,412	32,861					32,861
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						119,775	119,775	262	216	120,254
連結会計年度中の変動額合計		4,449	84,609	28,412	117,471	119,775	119,775	262	216	237,725
2013年当期末残高	1,481,520	476,557	30,997	△ 20,582	1,968,492	△ 220,802	△ 220,802	2,502	1,755	1,751,948

### 【連結貸借対照表】

#### 資産

流動資産は、現金及び預金の増加146百万円、売掛金の増加105百万円等の要因により、2,869百万円（前連結会計年度末比7.8%増）となりました。

固定資産は、建物の増加42百万円、差入保証金の減少16百万円、のれんの減少29百万円等の要因により、327百万円（同4.6%減）となりました。

この結果、総資産は、3,196百万円（同6.4%増）となりました。

#### 負債

流動負債は、未払法人税等の減少110百万円、前受金の増加65百万円等の要因により、1,326百万円（前連結会計年度末比3.5%減）となりました。

固定負債は、退職給付引当金の増加9百万円等の要因により、118百万円（同1.3%増）となりました。

この結果、負債合計は、1,444百万円（同3.1%減）となりました。

#### 純資産

純資産合計は、為替換算調整勘定の増加119百万円、当期において当期純利益110百万円を計上したことの要因により、1,751百万円（前連結会計年度末比15.7%増）となりました。

### 【連結キャッシュ・フロー計算書】

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」）の残高は、前連結会計年度末に比べ146百万円増加し1,733百万円となりました。

当連結会計年度に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

#### 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益148百万円、売上債権の増加額86百万円、法人税等支払額173百万円等の要因により、営業活動により得られた資金は90百万円（前年同期は384百万円の獲得）となりました。

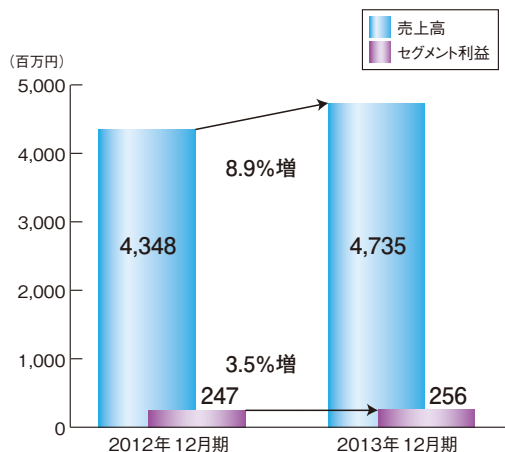
#### 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出116百万円、差入保証金の差入による支出163百万円、差入保証金の回収による収入180百万円等の要因により、投資活動により使用した資金は95百万円（前年同期は46百万円の使用）となりました。

#### 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額25百万円、長期借入金の返済による支出5百万円、ストックオプションの行使による収入32百万円等の要因により、財務活動により使用した資金は3百万円（前年同期は1百万円の使用）となりました。

■ オープンシステム基盤事業



売上高 4,735百万円 (前年同期比 8.9%増)

セグメント利益 256百万円 (前年同期比 3.5%増)

売上高

[国内]

- ・ 自社製品「LifeKeeper」は国内が牽引し増加
- ・ OSSに関するサポートサービスやOSS関連プロダクトが順調に推移
- ・ 「Red Hat Enterprise Linux」も増加

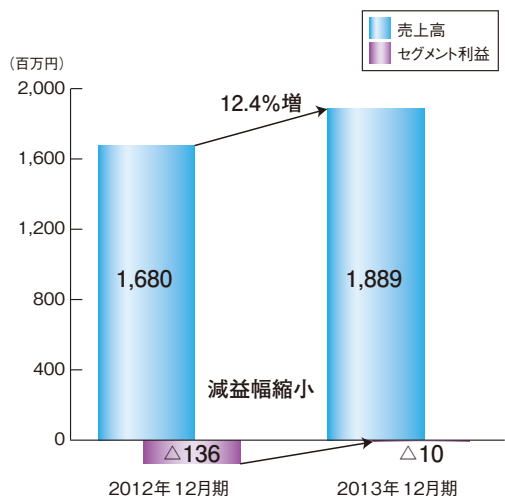
[海外]

- ・ アジア・オセアニア地域が堅調

セグメント利益

- ・ 増収やのれん償却の終了により増益
- ・ 「Red Hat Enterprise Linux」は競争激化により利益率低下

■ Webアプリケーション事業



売上高 1,889百万円 (前年同期比 12.4%増)

セグメント利益 △10百万円 (前年同期は △136百万円)

売上高

- ・ MFP関連ソリューションは引き続き伸長
- ・ 子会社グルーエージェントはソフトバンクテレコム社と提携、クラウドソリューションを強化
- ・ クラウド分野の製品・サービスが順調に推移

セグメント利益

- ・ 売上高が順調に増加し、赤字大幅縮小

## 会社概要

会社名	サイオステクノロジー株式会社 (英語表記：SIOS Technology, Inc.)		
本社住所	東京都港区南麻布2-12-3		
設立	1997年5月23日		
資本金	1,481百万円		
社員数	連結 207名 個別 128名 (社員数は臨時雇用者数を除く)		
役員 (2014年 3月28日現在)	代表取締役社長	喜多伸夫	
	取締役	大塚厚志	
	取締役	福田敬	
	取締役	藤枝純教	
	常勤監査役	平松祐樹	
	監査役	古畑克巳	
	監査役	齋藤哲男	
子会社	SIOS Technology Corp. (California, USA)		
	赛欧思(北京)科技有限公司 (北京市、中国)		
	株式会社グルーエージェント (東京都港区)		
	株式会社SIIS (福岡県福岡市)		
	株式会社ストックラボラトリー (東京都港区)		
	Glabio, Inc. (California, USA)		

## 株式の状況

発行可能株式総数	15,000,000株
発行済株式総数	8,874,400株
	※自己株式85,700株を含む
株主数	3,223名

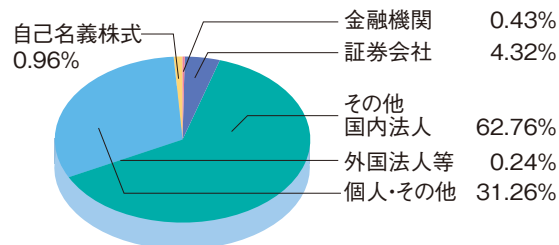
### ●大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
(株)大塚商会	1,593,300	18.13
テンプスタッフ(株)	1,500,000	17.07
日商エレクトロニクス(株)	1,190,000	13.54
喜多エンタープライズ(株)	920,000	10.47
喜多伸夫	255,800	2.91
野村證券(株)	209,900	2.39
富士通(株)	110,000	1.25
稲畑産業(株)	100,000	1.14
大塚厚志	83,200	0.95
日本電気(株)	80,000	0.91

(注)持株比率は、自己株式85,700株を控除して計算しております。

### ●所有者別株式分布状況

#### 株式数比率



## 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	毎年12月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸ノ内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国支店でっております。 <b>■住所変更等のお申出先について</b> 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
公告の方法	電子公告とします。 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場取引所	東証マザーズ
コード番号	3744

サイオステクノロジー株式会社  
東京都港区南麻布2-12-3 〒106-0047

[www.sios.com](http://www.sios.com)